

2018年度 決算補足資料

2019年5月15日



2018年度 決算のポイント

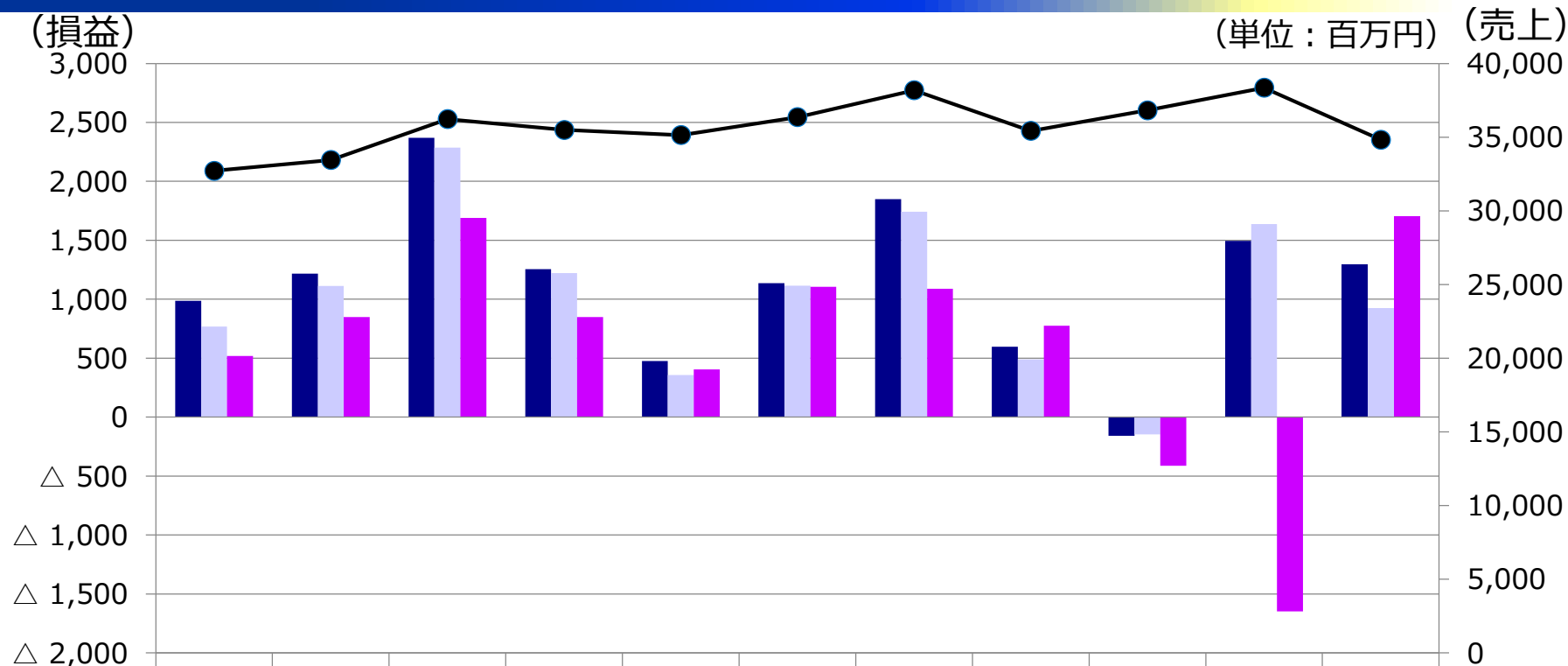
(単位：百万円)

	2017年度 実績		2018年度			前期比増減	
			公表値	実績			
売上高	145,167	100.0%	149,300	145,428	100.0%	260	0.2%
営業利益	4,718	3.3%	3,100	3,228	2.2%	△1,510	△31.6%
経常利益	4,436	3.1%	3,150	2,905	1.9%	△1,551	△34.5%
当期純利益	3,450	2.4%	200	421	0.2%	△3,028	△87.8%
EPS (円)	133.40		7.72	16.26			

《全体感》

- 売上：アジア以外は受注量が減少となるが、地金市況の上昇等によりほぼ前年並みの売上高水準
計画対比では、下期の自動車市場の弱含みの影響を受けて公表値を下回る
- 営業利益・経常利益：上期の燃料費上昇、米国の収益改善の遅れ、2Qでの一過性の減価償却費の
増加等により前期比減益となったが、ほぼ計画どおりの利益水準を確保
- 当期純利益：米国での減損損失発生等を受け減益
- EPS：当期純利益の減少により、EPSは16.26円/株

連結決算概要（四半期推移）



	16年度 2Q	16年度 3Q	16年度 4Q	17年度 1Q	17年度 2Q	17年度 3Q	17年度 4Q	18年度 1Q	18年度 2Q	18年度 3Q	18年度 4Q
■ 営業損益	986	1,216	2,370	1,255	477	1,136	1,850	596	△ 158	1,494	1,296
■ 経常損益	767	1,113	2,286	1,222	356	1,115	1,743	490	△ 147	1,638	924
■ 当期純損益	518	850	1,690	850	405	1,105	1,090	776	△ 413	△ 1,648	1,706
● 売上高	32,718	33,453	36,228	35,494	35,136	36,359	38,178	35,429	36,821	38,351	34,827

※ 18年度2Qは一時的な減価償却費の増加影響あり（影響額△645）

ダイカスト事業

(単位：百万円)

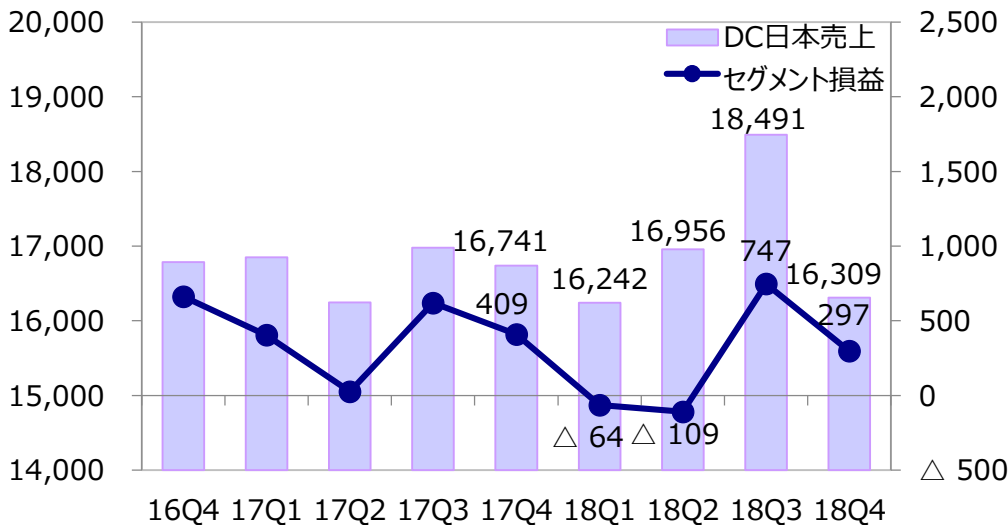
		2017年度 実績		2018年度			前期比増減	
				公表値	実績			
日本	売上高	66,818	100.0%	70,400	67,998	100.0%	1,179	1.8%
	セグメント損益	1,458	2.2%	480	871	1.2%	△587	△40.3%
北米	売上高	39,937	100.0%	40,000	39,801	100.0%	△135	△0.3%
	セグメント損益	291	0.7%	310	123	0.3%	△167	△57.5%
アジア	売上高	30,442	100.0%	31,600	29,971	100.0%	△470	△1.5%
	セグメント損益	2,378	7.8 %	2,050	1,841	6.1%	△536	△22.6%

- ✓ ダイカストセグメントの海外売上比率
2017年度：51.3% ⇒ 2018年度：50.6%

※ セグメント別の増減要因については、次ページ以降で説明

ダイカスト日本

ダイカスト日本売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



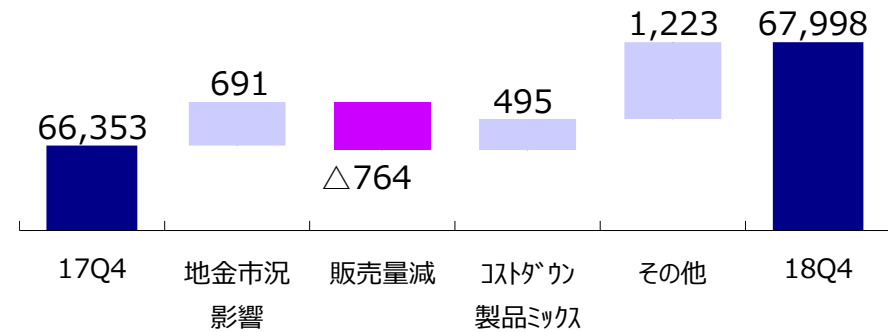
売上：11.7億円増（前期比1.8%増）

- 販売量は、3Qまでは前期比ほぼ横ばいで推移したが、一部取引先の生産調整の影響で減少
- 地金市況の上昇、金型売上等もあり増加

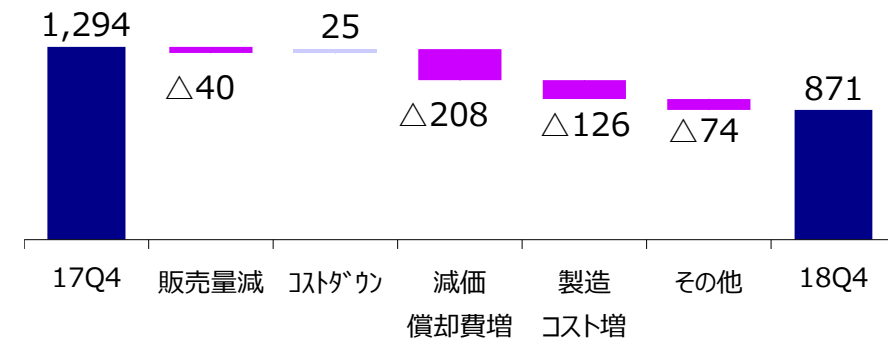
セグメント損益：5.8億円減（前期比40.3%減）

- 燃料費の上昇や減価償却費の増加等を受け減益
- 一部製品の生産調整による受注減も影響

※売上高増減要因（単位：百万円）



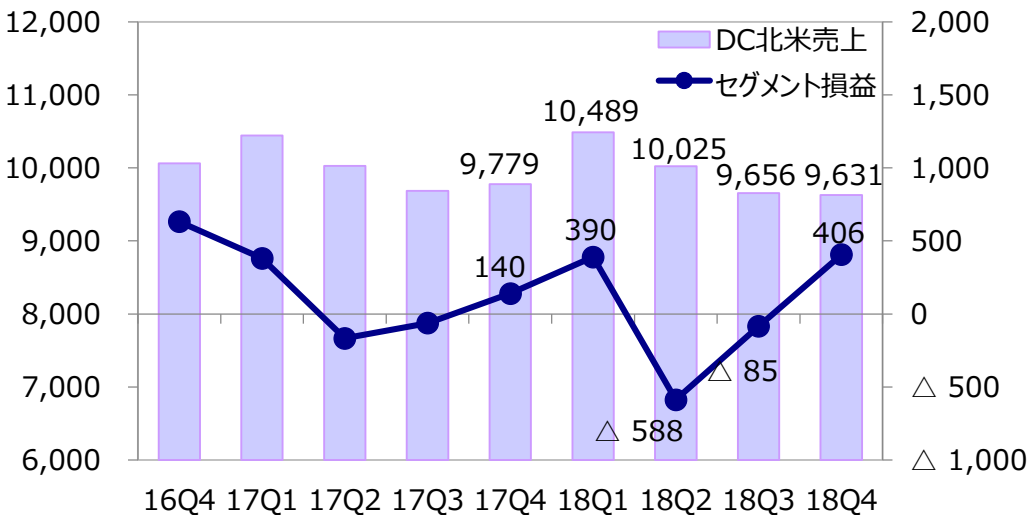
※セグメント損益増減要因（単位：百万円）



※17Q4の売上高・セグメント損益増減は決算期変更の影響額を除く

ダイカスト北米

ダイカスト北米売上高／セグメント損益の推移 (単位：百万円)



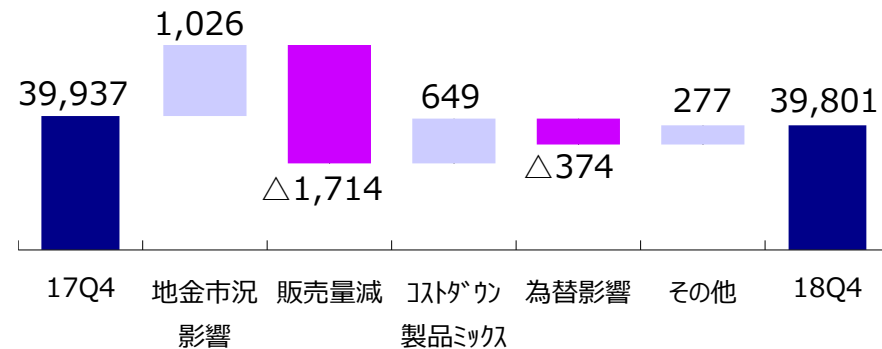
売上：1.3億円減（前期比0.3%減）

- 販売量は、米国では前年並み。メキシコは新規部品の量産本格化があるが、北米市場の影響受け減少
- 北米全体で販売量減となるが、地金市況の上昇もあり売上高は前年同期とほぼ横這い

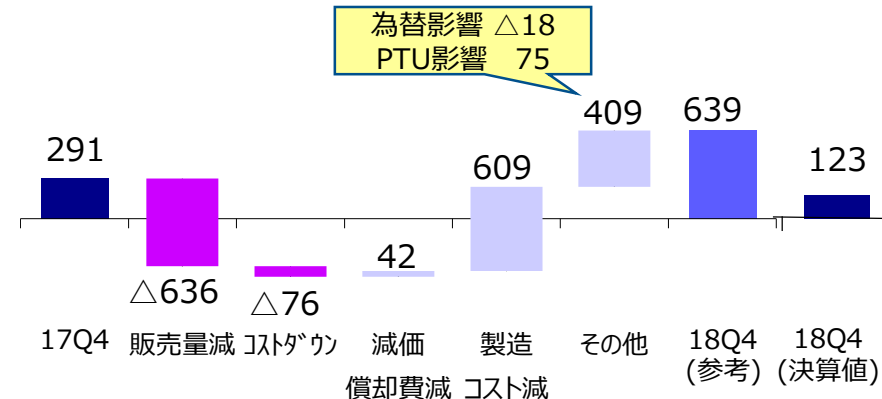
セグメント損益：1.6億円減（前期比57.5%減）

- メキシコでの販売減による影響があるが、一部製品ミックスでカバー

売上高増減要因 (単位：百万円)



セグメント損益増減要因 (単位：百万円)

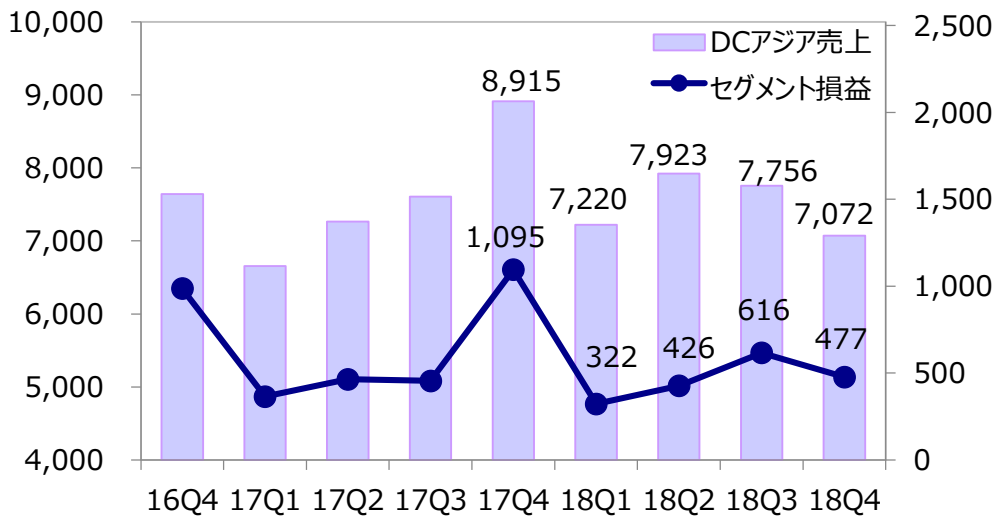


※参考は一時的な減価償却費の増加分を除いたセグメント損益

決算期：アメリカ3月期、メキシコ12月期
レート（17通期⇒18通期）アメリカ 110.83⇒110.72 メキシコ 112.39⇒110.58

ダイカストアジア

ダイカストアジア売上高／セグメント損益の推移（単位：百万円）



売上：4.7億円減（前期比1.5%減）

- 中国市場の減速により販売量が下期に減少
- インドは新規部品の量産本格化等により販売増加したが、為替影響で円ベースでは減収
- コストダウン及び製品ミックスの影響を受け減収

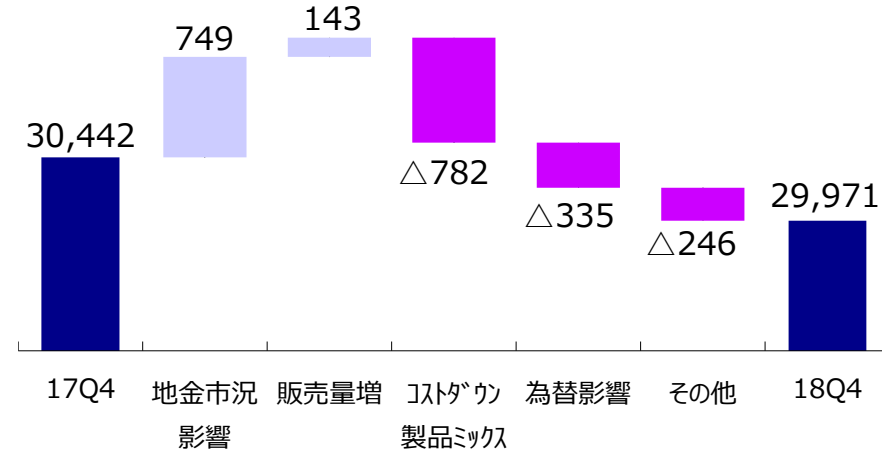
セグメント損益：5.3億円減（前期比22.6%減）

- コストダウン影響や製造コスト増で減益

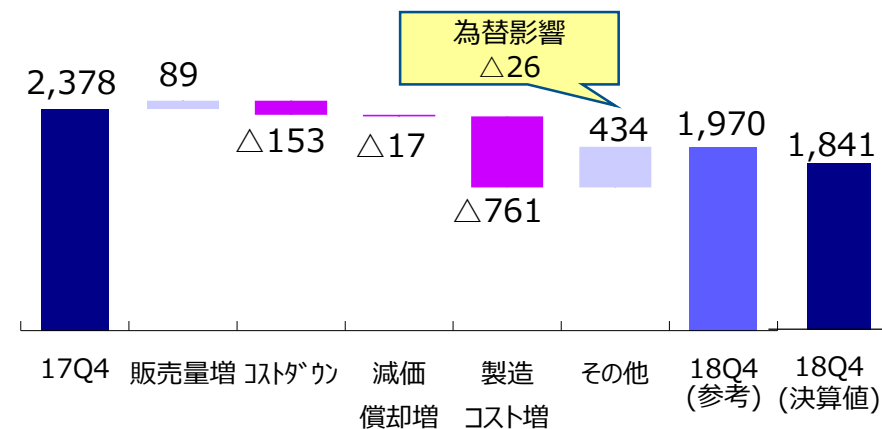
決算期：中国12月期、インド3月期

レート（17通期⇒18通期） 人民元 16.64⇒16.69 インドルピー 1.72⇒1.59

売上高増減要因（単位：百万円）



セグメント損益増減要因（単位：百万円）



※参考は一時的な減価償却費の増加分を除いたセグメント損益

アルミニウム事業および完成品事業

(単位：百万円)

		2017年度 実績		2018年度			前期比増減	
				公表値	実績			
アルミニウム 事業	売上高	4,597	100.0%	4,600	4,679	100.0%	82	1.8%
	セグメント損益	213	4.6%	140	112	2.3%	△100	△47.5%
完成品事業	売上高	3,371	100.0%	2,700	2,976	100.0%	△395	△11.7%
	セグメント損益	392	11.6%	120	314	10.5%	△77	△19.8%

アルミニウム事業

- 売上：販売量減もアルミ地金市況変動の影響を受け前期比増（前期比1.8%増）
- セグメント損益：地金市況上昇による原材料価格の影響等により減益（同 47.5%減）

完成品事業

- 売上：クリーンルーム物件等の受注が前期を下回るなか、計画以上の売上確保（前期比11.7%減）
- セグメント損益：計画を上回る受注確保により減益幅縮小（同 19.8%減）



Casting Our Eyes on the Future

視線はまっすぐ未来へ

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】
株式会社アーレスティ 経営企画部 経営企画課 TEL 03-6369-8664
E-mail: ahresty_MP0_IR@ahresty.com
URL: <https://www.ahresty.co.jp>

本資料および本説明会で述べられた内容には、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成した将来の見通しが含まれておりますが、様々な要因により、実際の業績はこれらの見通しと異なる場合があります。